

# 「私の下僕（シモベ）」理論Ⅱ

前回の記事「お客様が増える方法」の中で、「ただし、お客さんの中にだとか、仕事の関連の人で、どうしても自分に合わない人・イヤな奴がいたとしたら、そういう人とはなるべく付き合わないようにしましょう。…もしどうしても、そういう人と付き合わないといけない必要があったとしたら、“お前程度のヤツに、私のことが測れるか！私の器が測れるわけがない！”と思って接しましょう…」という内容のことを述べました。すると、皆さんから「付き合いがあるから、イヤな人でもすぐに関係を解消することはできない」「取引上、お金のことや利害関係があるのでなかなか難しい」等々、いろいろなお声をいただきました。確かにそうですよね。今までの人間関係や利害関係があるのを、スパッと割り切って解消するのは、至難のことかもしれませんし、気持ち的にもシンドイですよね。そこで今回、そういったことへの対処方法として参考にさせていただけるよう、以前、この「エステ B プラン」vol.18 に掲載した「私の下僕（シモベ）」理論と関連させて、その続編としての記事「私の下僕（シモベ）」理論Ⅱをお届けしたいと思います。「私の下僕（シモベ）」理論とはまずどういうものか…以前の文章から抜粋してご紹介したいと思います。

(以下、抜粋。エステ B プラン vol.18 「私の下僕（シモベ）」理論 より)

## 私が絶対主役

私の人生に於いては、私が絶対主役！ 当たり前のことなんです。忘れがちのことかもしれません。人は皆、自分の人生を生きています。自分の人生を生きるために生まれて来ました。他人の人生を生きる訳ではないですし、他人が自分の人生を生きる訳でもありません。

なので、自分の日々の人生に於いては自分が絶対主役なんです。云わば、自分が王様、女性の場合は女王様なんです。そして日々、自分が絶対主役の物語・絶対主役の事実が展開されているのです。このことが大前提になります。

## 自分以外は脇役、そして下僕（シモベ）たち

そして、自分の人生に於いては、自分以外（家族や身内も含めて）は全部脇役です。自分の毎日の人生に展開される物語に登場してくる脇役です。人生の物語創りに協力してくれる脇役なのです。

自分が絶対主役・絶対王様（女王様）、自分以外の人は王様に協力して王様の人生を創るための、云わば「下僕（シモベ）」たちなのです。

…ただ、別の人の人生に於いてはその人が絶対主役・絶対王様で、自分の場合と同じ様なことが展開されています。なので、自分自身がこの世の中で関わりのある人は（家族・身内も含めて）、それぞれの人の絶対主役・絶対王様である人生物語がお互い複雑にリンクし合っているのだと思って下さい。ただ、自分の人生に於ける絶対主役は、誰が何と言おうと自分自身なのです！

## 下僕（シモベ）たちをお願い・命令

このように、自分が絶対主役で自分以外は下僕（シモベ）たちの物語が日々繰り広げられています。

そこで今度は、この下僕（シモベ）たちをお願いや命令をしてみましょう。

例えば、自分だけでは手が足りない仕事があって手伝って欲しいのにその事を伝えても全然こちらを無視、そんな人がいればその人に対して自分の下僕（シモベ）だと思って、「お願い下僕（シモベ）、手を貸して、手伝って」と心の中でお願いしてみましょう。すると不思議なもので、今までそんな素振りを全然見せなかった相手の人が、何と手を貸してくれるようになったりします。

あるいは、仕事上などで変なことを言うてくる関係者、例えば取引先だったり上司だったり etc.(笑) に対して、言いがかりをつけなくて欲しい、黙って欲しいと思ったら、「お願いだから静かにして、下僕（シモベ）！」だとか「黙れ、下僕（シモベ）！」と心の中でお願いしたり命令したりしてみましょう。するとこれも不思議なもので、静かになったり黙ったりするんですね。面白いでしょう！ただし、ここで特に注意していただきたいことは、心の中で思うだけで決して口には出さないで下さい。口に出してしまうと、本当のケンカになってしまいます(笑) 絶対に、心で思うだけにして下さい。それともう一つは、その場面を楽しく想像して思って下さい。相手が手伝ってくれている場面、何か文句を言って来ていた相手が静かに黙っている場面、そういったことを楽しくイメージして心の中で思って下さい。あたかも相手を憎い敵のように思って、やり込めつもりでやろうとしても決してウマくは行きません。この点はど

うぞご注意をして下さい。(抜粋、以上)

このように、「私の下僕（シモベ）」理論とは…まず、自分の人生の絶対的主役は自分であること。自分の決めた人生を自分が絶対的主役として生きていること。そして、自分の人生の中での全ての登場人物・関わりのある人たちは（たとえそれが家族や身内であってさえも）、自分の人生の物語創りに協力してくれる人たち。自分の絶対的主役に対して、いわば脇役的な下僕（シモベ）と言ってもいいでしょう…ということなのです。ただし、この下僕（シモベ）の皆さんに上から目線でいて下さいとか、エラそうな気持ちで接して下さい、というのでは決してありません。自分のとつての下僕（シモベ）の皆さんは、自分の人生物語に何かのカチで登場してくれて、いろいろなことを一緒に経験し、物語を面白く、そして豊かにしてくれる存在…いわば愛すべき存在であると思います。

ただ、基本的にはそういうことであるはずなのですが、実際の人間関係の中では、自分が相手に対してとてもイヤな奴だ感じたり、仕事上で変なことを言うて来る取引先がいたり、そしてまた言いがかりをつけてくるお客さんであったり、文句ばかり言う上司がいたりという、こういったシチュエーションは結構多いですね。そういう人たちとは付き合わない、スパッと関係を持たないようにするのが一番いいんですけど、いろいろな問題で現実的にはなかなかそうは行かない場合が多いですね。

そこでそういう時に、上の（抜粋）の中に書いていますように…例えば、何かを手伝って欲しかったら、「お願い下僕（シモベ）、手を貸して、手伝って」とか…言いがかりをつけなくて欲しい、黙って欲しいと思ったら、「お願いだから静かにして、下僕（シモベ）！」だとか、時には「黙れ、下僕（シモベ）！」と心の中でお願いしたり命令したりしてみましょう。すると不思議なもので、かなりの確率で手伝ってくれたり、静かになってくれたり、黙ってくれたりするもんなんですね！不思議で面白いですよ！ただし、特に注意していただきたいことは、心の中で思うだけにして下さい、ということです。決して口には出さないで下さい。万が一、口に出してしまいますと本当のケンカになってしまいます。(笑)

絶対に心で思うだけにして下さい。

それともう一つ肝心なことは、心の中で思う時には楽しく思って下さい、楽しく場面を想像して下さいということです。相手が何かを手伝ってくれている場面、文句を言った相手が静かに黙る場面、そういったことを楽しくイメージして心の中で思って下さい。逆に、あたかも相手を憎い敵のように思って、やり込めようつもりでやろうとしても、たぶんウマくは行きません。

「下僕（シモベ）」と言っても、自分の人生物語に登場して、物語を彩り、いろいろなことを経験させてくれて、物語を豊かに面白くしてくれる存在なのですから…。

## 人生物語の協力者である下僕（シモベ）の皆さん

自分の人生に登場して来る自分以外の人は、全てが自分の人生の協力者。全ての人が自分の人生の物語を創るための協力者ではないでしょうか。

様々な時に、様々なシチュエーションで、様々な人が登場して来ます。そして、様々な人間関係が発生し、継続したり解消したりして行きます。そしてそのことで悩み、苦しみ、腹を立てたり、悲しんだりします。また逆に楽しかったり、喜んだり、相手を好きになったり、感謝をしたりもします。いろいろなことがあります。人生の全ての登場人物は自分の物語を創るための協力者だと思って下さい。(全然、登場なんかして来なくていいと思う人もたまにはいます…笑)

自分=人生の絶対主役、自分以外=自分の人生の協力者=下僕（シモベ）の皆さん…下僕（シモベ）という言葉にはちょっと違和感があるかもしれませんが、自分の人生物語には欠かせないとても大切な存在であると思います。この下僕（シモベ）の皆さんに、心の中で、楽しくお願いしたり、時には楽しく命令したりしてみましょう…ということなのです。「下僕（シモベ）、〇〇やって！」と。…きつと、間違いなく効果を発揮して行くと思います。…イヤだなと感じる相手だとか、エラそうだなと感じる相手には特に効果を発揮するはずで…そしてまた、これをするのもう一つの効果は…下僕（シモベ）の皆さん=人生で関わりのある人たち…に対して、自分が今までよりも少し優しい気持ちになれたりもするかもしれません。今まで許せなかった相手を、「まっ、いいか！」と少し許せるようになるかもしれません！これは、人間関係が今までよりも少しスムーズで楽になるということを意味しますね。とても良いことではないでしょうか！このように、「私の下僕（シモベ）」理論を、いろいろなシチュエーションで試していただいて、今まで、そしてこれからの人間関係をより円滑に、そしてより楽しいものにしていただくことに繋がっていただければ甚だ幸いに存じます！

皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます！



**ZaiSapo**  
ザイサポ  
(株)財務サポートコンサルティング  
代表取締役  
片上 智英 (カタカミ トモヒコ)

TEL 050-1523-1621  
E-mail zaisapo55@ybb.ne.jp  
HP <http://zaisapo.jp>

プロフィール  
国立大学を卒業後、出版・広告関係の企業へ就職。主に営業・マーケティングを担当。その後、出版販売の会社へ転職。拠点マネージャーとして社員採用・育成指導等、拠点運営を20年余り担当。後、(株)財務サポートコンサルティングを設立、現在に至る。医療関係・美容関係・飲食関係を中心にコンサルティング実績多数。また、大手通販会社と提携し、通販システム・ノウハウ提供のコンサルティングも現在展開中。